

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第2回 理事会
議事録

日 時：2020年2月19日 水曜日 19:00～22:00
場 所：社会福祉センタートモシア 研修室1～4
出席者：出欠表参照

1. 開会宣言 : 金子隼人専務理事
2. JCI Creed唱和 : 白井忍理事
3. JCI Mission並びにJCI Vision唱和 : 矢澤貴史理事
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 : 山本卓哉理事
5. 長岡JC宣言唱和 : 丸山利彦理事
6. 議事録作成人の指名 : 総務委員会(西野陵輔)

7. 定足数の確認及び配布資料の確認

定足数：19時5分、理事 37名 中 31名 を確認。出席率 83.8%

定足数を満たし、会議の成立が宣言された。

当日配布資料：ファイル名 20riji_02

事前質問シート

8. 理事長挨拶(別紙) : 今泉知久理事長
9. 直前理事長挨拶 : 上村英輔直前理事長欠席の為割愛

10. 議長選出

定款第37条第1項の規定により、今泉知久理事長が議長に選出された。

11. 前回議事録の承認(別紙)

第1回理事会議事録、第2回臨時理事会議事録は、出席全理事の承認により可決された。

12. 審議事項

【A. 特別議事】

(1) 入会願いの承認に関する件

①星野晃仁君の入会が全出席理事の賛成により承認された。

【B. 一般議事】

(1) 「Good Days Town～君の理想のまちを語れ～」事業計画並びに予算(案)について

兼古健太まちづくり委員会委員長より2回目の上程が行われ、全会一致をもって承認された。

13. 協議事項

(1) 「メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ」事業計画について

荒木法子より良く長く委員会委員長より3回目の上程が行われ、次回再上程となった。

- (2) 2020年度トレーニングセミナー「身につけよう！コミュニケーション～HOW TO KEEP RELATIONSHIPS～」事業計画について
渡邊雄也人財育成委員会委員長より1回目の上程が行われ、次回再上程となった。

14. 報告・依頼事項

- (1) ハンドブック・会員名簿のデータ管理について（別紙）
下条祐貴総務委員会委員長より説明があった。
- (2) トライデントながおか株式会社との協定について（別紙）
今泉知久理事長より説明があった。
- (3) 退会届けについて
金子隼人専務理事より、柳直幸君の退会届について報告があった。
- (4) 会員拡大について
渡邊雄也人財育成委員会委員長より協力依頼があった。
- (5) フォーラム21合同例会について
佐藤洸太事務局長より案内、協力依頼があった。
- (6) 5月例会について
兼古健太まちづくり委員会委員長より説明があった。
- (7) 3月公開例会について
小川文太青少年スポーツ推進委員会委員長より説明があった。

15. 次回開催日の確認

日時：令和2年3月18日（水）19：00～

場所：迎賓會館 紡希～台町朔～

16. 監事講評（別紙）

：高見礼央監事

17. 閉会宣言

：金子隼人専務理事

年 月 日 曜日

理事長：

監事：

監事：

監事：

議事録作成人：

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第2回 理事会
議事録（別紙）

8. 理事長挨拶 : 今泉知久理事長

本日も多くのメンバーの皆様が集まって頂きましてありがとうございます。最近社員とのコミュニケーションを図る中で、背景・目的をきちんと話すということ、よくするようになりましたが、それによって涙を流す社員もいます。自分が何のためにやってきたのか等を理解できる、それが自分にとって仕事のモチベーションになる。JCでやっていることを会社に落とせるなど多々思うことがあります。

せっかく理事の皆様がたくさん来られているので、最近仕事の調子が良い話をしたいと思えます。仕事柄、超一流と呼ばれる方達に会うことが多くありますが、その方々には皆、何でも聞いてくるという共通点があります。好奇心旺盛な人が一流なのかと思い、よく観察してみると、その方達は非常に駆け引きが上手いです。特にマネジメントや監督など、一代で成し遂げた人達は人の話をよく聞き、声をよく聞いています。声はしぐさ以上に心理状態がよくでるので、嘘をついているのか、困っているのか、逆にすごく自信があるのか、声を聞いているとよく分かるのです。打ち合わせなどで打開策が見当たらない時や、自分がやるべきことがよく分からなくなったら、とにかく質問してみる。相手の話をよく聞いてみる。そうするとその声の中にヒントが多々あります。ぜひ試してみてください。

11. 前回議事録の承認

【議事録署名人】高見礼央監事

確認させて頂きましたが、指摘事項等修正されているようですので、ご承認よろしくお願致します。

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】全会一致をもって承認可決された。

12. 審議事項 : 今泉知久理事長

【A. 特別議事】

(1) 入会願に関する件

①星野晃仁君

【補足】吉川浩司人財育成委員より

星野晃仁君を推薦します。入会の承認をお願いします。

【採決】挙手にて行われた。

【採決結果】全会一致をもって承認された。

【B. 一般議事】

(1) 「Good Days Town～君の理想のまちを語れ～」事業計画並びに予算(案)について

【説明】兼古健太まちづくり委員会委員長

前回質問がありました提言書をどうするかという所で、Good Days Townという事業をもう一度考えた際に、こちらは町おこし団体でもまちづくり団体でもなく若者育成団体だという委員会としての考えがありまして、提言書は出さないが報告書を挙げるという事にさせて頂きました。また前回変更点で実施内容にあります意識調査としての街頭アンケートは、背景目的に沿った内容で、出す際には専務理事・副理事長・常任理事の確認を頂くという事でさせて頂きたいと思っております。忌憚なきご意見をよろしくお願い致します。

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】全会一致をもって承認された。

兼古健太まちづくり委員会委員長より一言

こちらは非常に難しい議案であります。若者2人や3人から徐々に人数を増やし、30人、50人というような組織を作っていきたいと思っております。小室元チーフがどのようにやっていくのかこの組織のビジョンを今考えているところです。メンバー全員一丸となって精一杯実施していきますので何卒よろしくお願い致します。

13. 協議事項

(1) 「メタボ回避100日チャレンジ!!あるこーレ、自分のからだしろーレ」事業計画について

【説明】荒木法子より良く長く委員会委員長

皆様の意見を委員会でもませて頂きまして議案を作りました。忌憚なきご意見をよろしくお願い致します。

O：小熊孝幸理事

背景・目的が修正されていて、やっとな委員会らしい背景になったと思います。

Q：山本晃弘理事

市政だより掲載案の中で、参加費用が入ってないがこちらの記載はされないのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

市政だよりの方は前回記載なしという事で一部通して頂きましたが、本当は金額を入れたいと広報課の方から言われています。しかし理事会で通っていないので入れられないという事をお伝えしている状態です。明日が市政だよりの締め切りになっており、午前中までに決まらない場合は市役所の方で議論して頂くことになっております。ただ理事会で決まったことが全てです。ですのでそれに従いたいと思っております。

O：山本晃弘理事

チラシには入っているので入れたほうが良いと思います。

Q：金山泰理事

私は市政だよりも金額を載せた方が良いと思いますが、前回の臨時理事会で通さないと載せられないという話でしたが、今からの掲載は可能なのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

市役所から締め切りの入稿直前まで待つて頂ける事になったと連絡がありました。結果、その時決めなくても良かったという事になりましたが、その時に決めなければいけない事ではありませんでした。

O：金山泰理事

2,000円ということで本日通るのであれば、金額が分かった方が市民の皆さんも分かりやすいと思うので、載せた方が良いと思います。

Q：菊地恭平理事

背景の方少し変えられていますが、自分の中で訳したものをこれで良いのかお聞きしたいです。長岡市がこれだけの政策をやっているのに上手く出来ていないから、青年会議所として手伝わなければいけないという解釈でよろしいのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

背景の理解が少し違ってきます。私達は社会保障費やこれからの医療費が増大していくことが課題と思っており、その上で長岡市の政策を調べたところ、その政策が我々世代に届いていないという事が分かりました。それも課題だと認識しています。それに対してどういう事ができるかと考えた結果、お年寄りの方にもっと健康になってくださいというのではなく、我々自体が健康づくりを習慣化しそれについての知識を得る事が大事だと考えました。その上で長岡市の政策が我々に届いていないという認識もありましたので、それについてもしっかりと提言できたらという思いでこの背景を作らせて頂いております。そもそも長岡市の政策を良くしたいという始まりではなく、我々自身がより良くなりたいという考えのもとで書かせて頂きました。

Q：菊地恭平理事

それであれば、目的が「長岡青年会議所として、青年期壮年期の健康に関する意識を高めていく必要がある」「長岡市の政策を一緒になって盛り上げていかなければいけない」の二つあるのではないのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

目的は二つあります。

Q：菊地恭平理事

そうであれば対外目的が一つしかないのでは、二つあった方が良いのではないのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

青年会議所として定款会則の1と3にも書いてありますが、長岡市をより良くすることは長岡JC宣言でも唱えているように、より良くすること、地域と歩み続けることを我々は本分としているので、対外の人に求めるというのが分からない。それは対内の目的としてより良いまちづくりを進めると理事長所信にもあるわけですが、それはそこで進めたいと思います。

O：今泉知久理事長

今の背景の中では、まず青年期壮年期世代が健康になってもらいたい、もう一つは現状の長岡市の政策が十分に活用できていないということがあり、それを提言するなら目的にも入れた方が良いのではないかと菊地理事は言っていると思います。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

対外目的に市も市民も入れた場合でも、私たちが持っている課題として背景に挙げているわけで、あくまで私たちがまちづくりに生かすことを目的としています。私たちのデータをもってまちづくりに生かすかどうかは長岡市が決めることですので、対外としては知識を得て習慣化を目指すことに止めさせて頂き、対内としては課題を認識してより良いまちづくりに生かしたということを反映させて頂いた上での対内目的として委員会では考えさせて頂いたのですが、いかがでしょうか。

Q：菊地恭平理事

背景目的が長岡市が行っているにも関わらず十分に活用できていないということは、市民が活用できていないので長岡市がこれだけの活動をしていることを広めたいということでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

長岡市の政策は市民の皆様の税金で行われているのですが、活用できていないという状態があるということは、長岡市にとっても市民にとっても良くないことで、お互いにとって課題だと思います。青年会議所の事業としてやらなければいけないことは、皆さんに習慣化を促すことと、まちづくりに我々としての答えを活かして頂くことだと思っているのですが、いかがでしょうか。

Q：菊地恭平理事

この事業をやるのが目的ということでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

この課題認識については議案書も先方に見てもらっているので、課題だどこっちが思っていますとということを伝えています。

Q：山本卓哉理事

菊地恭平理事の補足ですが、健康づくりの取り組みを長岡市が行っているにも関わらず十分に活用できていないというのは、政策の内容を市民から理解が得られていないという背景でよろしいですか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

青年期壮年期の皆さんに対しては上手くアプローチができていないという事は、課題認識としてはあると考えています。

Q：山本卓哉理事

その上で、そうであれば政策が市民に届いていないという背景と手法がどのように繋がっているのかを教えてください。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

私たちの目的は政策を届けることではありません。まちづくりに活かすことと皆さんが健康になって頂くためにその習慣をつけて頂くことです。その上で、背景に関しては長岡市の政策が届いてないということが現状としてあるというのは課題だと思っています。

背景と目的はリンクしています。政策が上手く回ることでまちづくりに生きてくると思うので、まちづくりに活かすことという目的を入れさせてもらっています。

Q：山本卓哉理事

背景から手法にどのようなアプローチで繋がっているのかを教えてください。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

背景に関しては社会情勢や市としてやっていること、我々の現状を書かせてもらっています。手法に関してはタニタ健康くらぶという活動量計を使った歩くシステム、健康づくりの手法を長岡市は提供しています。その手法を社会実験として使うことで見えてくるものがあると思います。やってみないと分かりませんが、出てきた結果を長岡市にバックしようと思っています。

Q：山本卓哉理事

今の返答ではどうリンクしているのか見えてきません。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

タニタ健康くらぶというのが、長岡市の政策の一つです。

その政策をもっと活かせるように今回社会実験を行いたいということです。

Q：金山泰理事

今のお話の中で全てが社会実験ということでした。コストの問題もこの金額でやるかどうか社会実験であるという話でしたが、割り引いた社会実験がいいのでしょうか。

そうであれば3,000円でやるかどうかを社会実験しなければいけないのではないのでしょうか。割り引いたらコストがどうかという実験にはならないと思います。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

金額については委員会の中でかなりもませて頂いております。さらにタニタ健康くらぶや色々な方と相談させて頂き、2,000円だったらどうだろうというのも実験したいということです。

Q：金山泰理事

2,000円でやる人が多ければ今後そうなる可能性があるということでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

提言書の中には盛り込みたいと思いますが、それを決定するのは私達ではありません。

Q：金山泰理事

3,000円だったパターンはどのように検証されますか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

今までやってきていることなので、すでに検証できています。

O：金山泰理事

調査されるということでしたら、割り引いたとなると条件が変わってくるので確認しながらお願いします。

Q：菊地恭平理事

先ほどの答弁を聞いていると、タニタ健康クラブを活用したいという目的でよろしいでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

タニタ健康クラブを活用したいという目的ではなく、今書かれている目的の通りです。より良いまちづくりを青年会議所として課題認識をもって目指していきたいと考えています。

Q：今泉知久理事長

健康づくりの取り組みを長岡市が取り組んでおりますが、それにも関わらず十分に活用できていない現状があります。この一文が背景にあることで非常に現状紛糾していると思うのですが、この一文は必要ですか。必要だとしても表現の仕方が分かりづらいので、修正できるのであれば修正したらどうでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

菊池理事もここの部分がなければ分かりやすいという御意見でしょうか。

Q：今泉知久理事長

青年期壮年期の健康意識が低いから、それを高めていく必要があります。という表現で良いのではないのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

委員会としてこちらの方をもませて頂いて課題認識を持つておるので、今のお話を受けまして背景の部分を健康づくりの取り組みを長岡市が行っているにも関わらず、十分に活用できていないという課題がありますというのは削除させて頂きたいと思います。

Q：菊地恭平理事

金額について、健康意識を高めるためにタニタ健康クラブとパートナーシップを組んでやるという手法は良いと思うのですが、2,000円だったら大勢来ましたが、しかし3,000円だったら来ません、ということがそれで本当に言えるのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

問題は金額だけではございません。様々なデータをお返しする上で、提言することが全て使われることはありませんので、金額のこともそうですしその他についてもしっかりと皆様にアンケートを取らせて頂くことでバックをしたいと思っております。

Q：菊地恭平理事

そうなってくると他の健康増進に取り組んでいる会社に提携を結んで参加してもらったり、そういった色々な取り組みをやっていく中で2,000円だったら参加できますというのが貰いにくくなる。他のところをお願いしますというのが言いづらくなる。2,000円だったら自主的に参加する人が多かったですとか、やはり一ヵ月してだめなので他の提携している人に頼みますというのであれば分かります。ですがそうしてしまうとアンケートの信憑性が薄くな

ってしまうと思います。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

今の取り組みで様々なことを行うということは受益者負担や公共益の観点からも必要なことと
思っています。様々な取り組みを行った上で様々な取り組みがどういったものだったかとバッ
クしたいと思うのですが、そのバックの仕方につきましてはまた理事会の方で審議を上げさせ
て頂きますのでしっかりと見て頂ければと思います。

Q：菊地恭平理事

背景をそれに合わせて変えたりしますか。今のままですとその答えが出てこないと思います。

O：今泉知久理事長

それは検証不十分ということです。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

事前アンケートのところで金額が普段よりも安かったから参加したかという旨を入れさせて頂
きたいと思います。

【休憩動議】兼古健太まちづくり委員会委員長より休憩の動議が挙げられた。

【セコンド】長谷川繁理事

【採決】挙手にて行われた。

【採決結果】全出席理事の賛成により休憩となった。

修正後、再上程

【説明】荒木法子より良く長く委員会委員長

背景を「長岡市において高齢者の割合が毎年上昇しており、このことが社会保障費の負担
増大に繋がっています。健康づくりの取り組みを長岡市が行っているにも関わらず、青年
期・壮年期世代に届いていない現状があります。これから高齢者になる我々が健康に対し
意識を高め、健康づくりを習慣化する必要があります。」に修正しました。

Q：長谷川繁理事

どこかの段階で審議して市に提言するという事だと思うのですが、そのスケジュールが全体ス
ケジュールに入っていないと思いますので入れてみてはいかがでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

9月の65周年事業で提言書を提出したいと思っています。

Q：高頭直人理事

背景の主語が長岡市になっていて、青年会議所ではない気がしますがどうでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

「これから高齢者になる我々が」という所で、我々の事を主語にさせて頂いております。

Q：加藤弦太理事

目的に習慣化を目指すとはありますが、荒木委員長の考えとして習慣化したと言えるのはどうい

うラインなのか教えて頂きたいです。100日歩いたら習慣化したということなのでしょう。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

まずは自身の体に対して興味を持ってもらうという事が大事だと思っています。その上でできるだけ体を動かす事を意識するという事がすごく大事ですので、活動量計を使って毎日8000歩を意識して歩いて頂きたいと思います。100日間はデータとしてこちらでも見れるので検証もできますが、それ以降は委員会として見る予定はないのでご自身でチェックしてもらいます。

Q：田中勝也理事

変更後の背景の「健康づくりの取り組みを長岡市が行っているにも関わらず」という所で、どうしても長岡市がとても目立ってしまい、これだと長岡市しか行っていないともとれます。取り組みというのは長岡市以外も行っているの、そのあたり委員長の考えとしてはどうでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

冒頭に長岡市とあり重複していることもありますので、「様々な団体が」という形に変えさせて頂きたいと思います。

Q：兼古健太まちづくり委員会委員長

変更後の背景は、「青年期・壮年期世代」という言葉が消えただけで他は変更がないようですが、どういう変更でしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

青年期壮年期世代に届いていないという現状があることに変えさせて頂き、活用できていない課題がありますと変えさせて頂いております。重複する為、「これから高齢者になる我々が」とその点につきまして変えさせて頂きました。

Q：兼古健太まちづくり委員会委員長

先ほど理事長から、健康づくりの取り組みを長岡市が行っているにも関わらず十分な活用が出来ていないという課題があります、という一文を削除すれば前後の分がまとまるのではないかという話があったと思うのですが、そこはまた復活させた方が分かるということでしょうか。

O：今泉知久理事長

削除しろとは言っていないで、削除するなり文章の並びを変えるなりしたらどうだと言わせて頂きました。

Q：兼古健太まちづくり委員会委員長

そこを削除するのかと勘違いしておりました。しかし理事長が言っていた一文を削除したら非常に良い背景になると思うのですがいかがでしょうか？

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

削除をするということも考えましたが、この度は削除をしないということで進めさせて頂ければと感じております。

Q：兼古健太まちづくり委員会委員長

そうすると現状の問題定義が二つ出てきます。そうしてしまうとまたおかしくなります。背景を変えたことにより、対内目的のところの健康で長生きできる街づくりに生かすことというのも消えると思います。一案ですが、健康づくりの目的の一文を削除して対内目的を健康づくりに対する知識を得て習慣化を目指し指導できる人材になること、とすると綺麗な背景目的になるのではないかと思うのですがいかがでしょうか？

A：五十嵐佑一常任理事

色々な意見はあると思いますが、この場で皆さんが合致する背景目的を作り上げるのは難しいです。伝えたいことはすでに盛り込んでありますので、この文章でいかせて頂きたいと思いません。

Q：兼古健太まちづくり委員会委員長

現状では社会的背景が二つ入っていますので、このままというのは無理があると思うのですがどうでしょうか。このままでいくと言われれば、そうですか分かりましたと言うしかないのですが、この事業の背景目的がねじれ始めると思いますので、そこをどう考えれば良いか分かりません。

O：今泉知久理事長

現時点で理事全員の合意形成を得ることは難しいと思うので、次回再上程と言う形を取らせてもらいます。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

この事業に関して課題認識というのは背景に書かせて頂いている通りです。切り口として二つあるか一つあるかということが問題ではなく、この事業自体が良くなり多くの人に参加してもらうことが、結果として目的に繋がりますし、その達成に繋がると思います。委員会の中でもまかせて頂いた上でここに上げさせて頂いています。その上で是非通して頂きたいと思いません。背景の部分は分かるのですが、通して頂きたいと思いません。

Q：今泉知久理事長

意気込みは非常に分かりますが、審議に上がった上で反対多数になった場合には廃案になります。今の背景に関して問題定義が二つあるということに関しては委員会でもみましたか？

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

この内容でいくことになっています。

O：今泉知久理事長

理事は納得できないと思いません。

Q：荒木法子より良く長く委員会委員長

兼古健太まちづくり委員会委員長のお話をもう一度聞いても良いですか？

A：兼古健太まちづくり委員会委員長

健康づくりの取り組みを長岡市で行っているにも関わらず青年期壮年期世代に届いていない現状がありますという一文を削除すると、背景が高齢者の割合が上昇しており社会保障の負担増大に繋がっていますという社会的現状があり、これから高齢者になる我々が健康づくりを習慣

にする必要がありますという綺麗な背景になると思います。そうすると、対内目的の健康で長生きできる人生に活かすことが目的ではなく、習慣化を目指し指導が出来るとか巻き込むことが出来る人材となることを目的としますという形にすると背景と目的と手法がすんなり落ちると思うのですがいかがでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

そのような形で皆様が納得して頂けるのであればそのような形で修正させていただきます。

O：今泉知久理事長

背景目的に関してはもう一度委員会で話し合った方が良いでしょう。今回決めなければいけないのは金額ですので、そこだけで意見をお持ちの理事は挙手にてお願いします。

Q：田中勝也理事

金額について確認ですが、市政だよりやチラシに載せるために、載せるのか載せないのか、金額を3,000円と載せないで有料とする等を決めてしまうということですか。

O：今泉知久理事長

現状市の方から入れてほしいということで保留の状態となっているので、先ず金額を決めさせてください。

Q：田中勝也理事

前回理事会の際に3,000円で利用するかどうかの根拠が足りないことと、活動量計のメリットや機能の話をさせて頂いたと思うのですが、それによる記載はあるのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

体組成計で分かることを追加させて頂いています。活動量計で分かることに関しても記載をさせて頂いており、毎日歩いている歩数とそれに対してのカロリーをリーダーライターに入れたときにグラフとして表示されます。体組成計に乗ったときのグラフを一覧で見ることが出来ます。

Q：田中勝也理事

活動量計と体組成計は別のもので、活動量計の必要性というのはお金をもらう部分での審議のポイントになると思います。歩数やカロリーは安いものでも代替えが出来ますし、参加推進を増やす方向であればそういう案であっても良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

事業目的のためのプロセスの中にも書かせて頂いたのですが、データが収集できるということが一つポイントになると思います。タニタ健康くらぶというものは市の施策の一つです。それを使って社会実験をするということがより良いまちづくりに繋がると思いこれを使用させて頂いています。ちなみに活動量計と体組成計のデータは個人のデータとして蓄積されます。従って一覧で御本人が見ることが出来ます。

Q：田中勝也理事

タニタ健康くらぶにもっていくことが目的と聞こえます。この事業内容の結果が欲しいというのであれば通常の万歩計であるとかでない、おそらく参加推進は難しいのではないかと感じる場所であり、そういうところに対して緩和策というのは考えることが出来ませんでしょう

か。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

緩和策というのはどういったことでしょうか。

Q：田中勝也理事

タニタ健康クラブの活動量計を使わないといけないという内容を見ると、皆さんが納得されるようなものはあまり感じられないので、一番は金額のかかる大事な部分じゃないかと思います。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

皆さんが同じシステムを使うのは公平性の観点から大事なのではないかと感じます。それぞれのスマホに入っているものではなく、一つの同じものを使って検証をするということは大事な観点ではないかと思います。

Q：田中勝也理事

公平性は必要なのでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

必要だと思います。モチベーションを上げるために公平性は大事なことと思います。

Q：田中勝也理事

目的としては運動習慣をつけて個人の身体の変化を感じたりすることだと思うので、これでないといけないということを感じるのは難しいです。前回の理事会で必要性を載せてほしいと意見をしたのですがそこに対するところを記載して頂かないと私は納得できていません。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

ご意見を受けて事業内容の目的達成のためのプロセスというのを追加させて頂いております。その上で皆さんと同じシステムを使わせて頂くことに関して記載を追加させて頂いております。

Q：田中勝也理事

8000歩が目的ではなくこの内容による基礎代謝10%など細かい部分を数字として見ていくということでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

基礎代謝の上のところに書いてある文言について今説明をしたつもりではありますが、目標を設定して頂くのをみなさんに習慣化して頂くための仕掛けの一つでございます。モチベーションを上げて進めて頂ければと思います。

Q：田中勝也理事

そのような内容があるのであればなお活動量計でなければいけないのか疑問に思うのですが、それならばランキングを決めるポイントの中に目標達成に対する部分もあった方が良くと思いますがいかがでしょうか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

記載させて頂いております。目標達成したで賞という部分で少ないですがポイントを付与させて頂いております。

Q：山本卓哉理事

参加人数が対外200人対内129人合計329人という認識でよろしいでしょうか。

その中で本当に8000歩歩いてもらえる人はどのくらいいるというイメージをお持ちですか。

A：荒木法子より良く長く委員会委員長

青年会議所メンバーが任意での参加になるので、目標設定は300人という形にさせて頂いております。8000歩歩くのは非常に難しいですが、それを目指して頂く為にやる社会実験なのでやってみるといふ事でありませう。

次回再上程となつた。

(2) 2020年度トレーニングセミナー「身につけよう!コミュニケーション~HOW TO KEEP RELATIONSHIPS~」事業計画について

【説明】渡邊雄也人財育成委員会委員長より

トレーニングセミナー初上程となります。ここに書いてある以上にもっともつと良い事業にしていきたいと思ひますので、皆様からのご意見をよろしくお願ひ致します。

Q：菊地恭平理事

事前に委員会を受けたということですが、その後委員会内でこれが良かったとかこう変わったというような意見はあったのでしょうか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

アサーションというキーワードが、委員会メンバーからも常に意識して出ていて、何か人に言う度にアサーションを使って言うという事が委員会内で起きていたので、とても効果があったと考えます。

Q：小熊孝幸理事

土曜日の5時開催ということですが、なるべく多くメンバーが来るような工夫はお考えでしょうか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

平日の早い時間だと集まりが悪いという事で、この時期土曜開催にしても運動会時期の為メンバーが集まるのが難しいということは大前提にありますが、早めにこの日の5時と決めてメンバーに連絡していく予定です。

Q：高頭直人理事

アサーションセミナー2時間とありますが、きっちり2時間やらないといけないセミナーなのでしょうか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

2時間きっちり受けないと効果が表れないものです。

O：田中勝也理事

タイムスケジュール等の実施内容がもう少し細かいと分かりやすいと思つた点と、長丁場におけるセミナーとなるので、集中力が欠けると効果も薄れると思ひますので、実施の際には気を

遣って実施して頂きたいと思います。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

休憩を図って、頭もすっきりさせるような準備をしたいと思います。

Q：矢澤貴史理事

1月の正副の所に懇親会は行わない予定でいますとあるのですが、案内文の方に懇親会の案内が書いてあるので、どちらが正しいのでしょうか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

案内文の方に記載してある全体懇親会という所を削除させていただきます。

Q：土田雅彦理事

新入会員の出番が少ない気がします。例年だとトレーニングセミナーというのは入会の浅いメンバーに成長してもらいたいという気持ちがある中で、講師中心となると新入会員の出番が若干少ないように思えたのですがいかがでしょうか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

新入会員の方にはアサーションセミナーと一緒に受けてもらう事で力をつけてもらうという意味もありますし、事前準備の段階でトレーニングセミナーのチーフである山本チーフがこのアサーションに似たようなものを事前に委員会内でやっております、それを踏まえた上でテーブルコーディネーターとして新入会員には活躍して頂く予定です。このアサーションを使って1年間を通して会員育成プログラムと同時進行で、委員会内でしっかりと育てていきたいと考えております。

Q：高頭直人理事

目的に書いてある「円滑な意思疎通が取れる人材」とはどのような人と考えていますか。

A：渡邊雄也人財育成委員会委員長

意思疎通とはコミュニケーションという意味で、言葉一つでその言葉は武器にもなります。聞き手側もしっかりと相手の気持ちを尊重して聞かなければ、コミュニケーションはとれないものだと考えています。初めて会う相手に対して自分の言いたいこともきっちり言えるし、相手に嫌な思いをさせないようにしっかりと喋れる、そんなコミュニケーション能力をつけてもらいたいという意味で、そのような人材になってもらう事を目的といたしました。

以降持ち帰りとなった。

Q：白井忍理事

会場選定理由についての質問です。

雰囲気は○というのは、どのような意味を込めて○なのか教えて頂きたいのと、どういう雰囲気で行くと、これは成功だと思えるようなイメージはありますか。

Q：菊地恭平理事

背景について、今ここに書かれている事が必要だという事なのですが、これが青年会議所にと

って足りない部分であるのかという事をお聞かせください。

1 4. 報告・依頼事項

(1) ハンドブック・会員名簿のデータ管理について

【説明】 下条祐貴総務委員会委員長

先日OBの方より、ハンドブックの記載内容の変更を数年前にお願いしたにも関わらず、今年また変わっていない状態で送られてきた。納得いかない。という苦情がありました。データの管理がバラバラでこのようなことが起こった為、今後会員名簿のデータ管理を事務局で一括管理して頂こうと思います。今年は特に特別会員の方に連絡をすることが多くなるので、その際は必ず事務局に会員名簿のデータを要求して下さい。そして使用後は必ず破棄して下さい。現在のハンドブックに載っていない方に連絡をとりたい時に、過去のハンドブックを参考にされると問題が生じる場合もあるのでやめて下さい。今後はデータを一元管理するという事を徹底して頂きたいと思います。

(2) トライデントながおか株式会社との協定について

【説明】 今泉知久理事長

協定書をトライデントながおか株式会社さんと結ばせて頂きました。道の駅「ながおか花火館」の運営を地域の各団体と活発に行っていきたいという内容のものです。

1 6. 監事講評 : 高見礼央監事

皆様長丁場お疲れ様でした。

理事長や山本卓哉理事が言っていたように、根本はコミュニケーションだと思います。理事会の場で時には紛糾するのも大いに結構ですが、限られた時間の中で会議をしていますので、いかにより良い事業を繰り出せるかを最終的に見据えて、皆様喧々諤々と議論して頂きたいと思います。

根本的な部分をもう1回見直して、次回の理事会に繋げてほしいと思います。

以上